

第15回

評論キーワード

① 現代評論を読むための重要語

③ 捨 ② 抽 ① 具

象 象 象

西洋の芸術表現は写実主義であり、美術の対象は〔ぐしやう〕による再現である。(三井秀樹「かたちの日本美」)

白は色であることにとどまらない。不在やゼロ度のようない。〔ちゆうしやう〕

ビデオやLDなどの視覚メディアが普及し、視覚的な要素を〔しやしやう〕として聴覚的な要素だけを取り出した

きた従来の音響メディアがいかに一面的であったかが明らかになってきた。(渡辺裕「聴衆の「ポストモダン」?」)

⑤ 特 ④ 普

殊 遍

学問に個人的な人間関係を持ち込むことであり、〔ふへん〕性を否定するものだという批判が浴びせられよう。(田村正勝「社会哲学講義」)

他文化を自文化とは決定的に異なった〔とくしゆ〕なものとして見出だす「文化相対主義」とは、ぜんぜん

別物である。(岡真理「開かれた文化」)

意 具象Ⅱ事実そのままにうけとられる状態のこと。／抽象Ⅱ事柄もることからある性質や要素を抜き出すこと。

☆抽象するということは、特性が抽出されることで、他の具体的な個性が除かれる(Ⅱ捨象)ことになり、思考するには欠かせないことである。

意 捨象Ⅱ抽象化することで、具体が除かれること。

意 普遍Ⅱあらゆるものに広く及ぶ共通の、常にあてはまる性質。普遍的なものは、抽象することでしか現れてこない。／特殊Ⅱ他のものとは異なる性質。